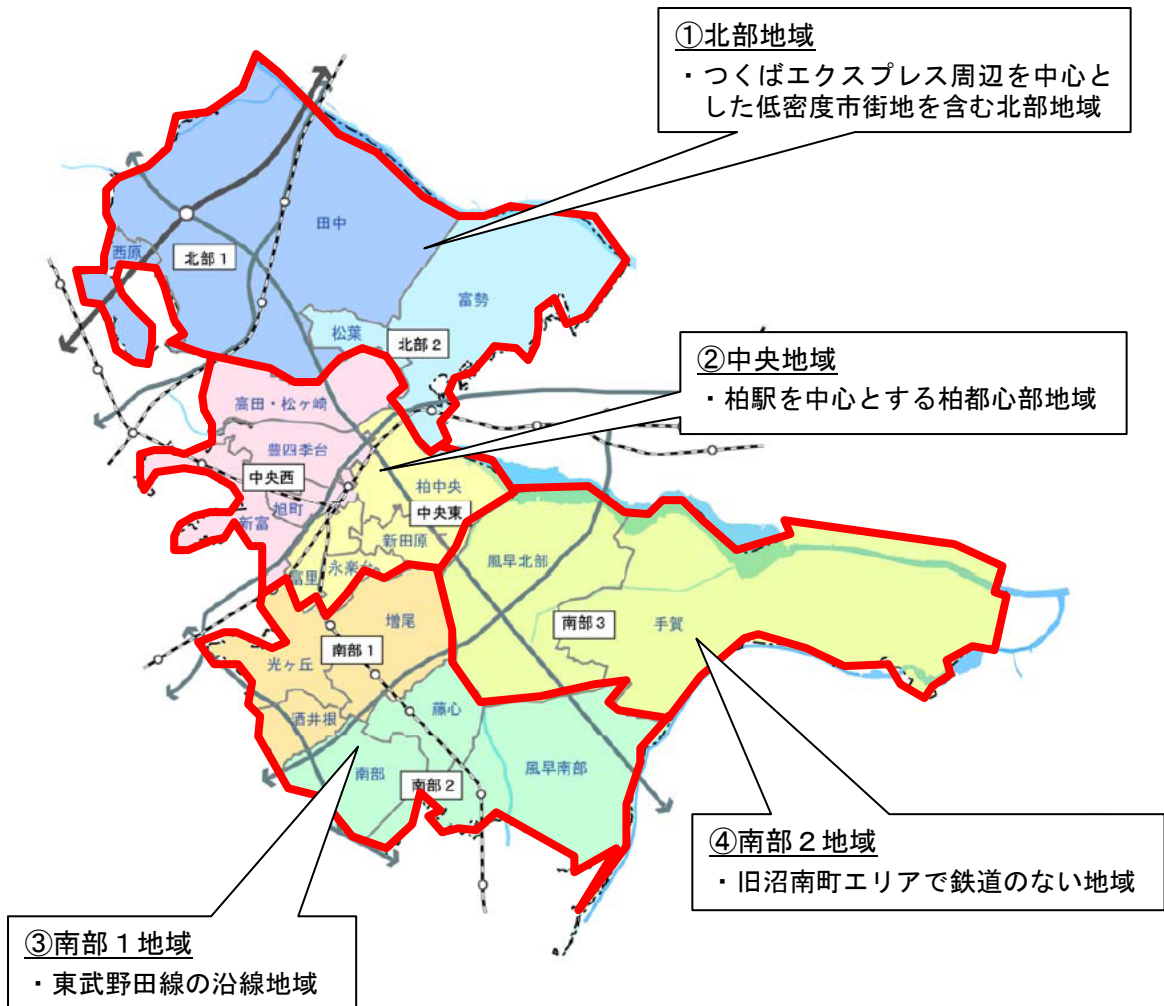


8. 地域別の交通施策(施策パッケージ)

8-1 地域の設定

・地域区分は都市計画マスタープランにおける地域区分を踏まえ、交通体系の特性の違いから以下のように統合し設定する。

- 地域分類
- ①北部地域 : 田中・西原・富勢・松葉
 - ②中央地域 : 高田・松ヶ崎・豊四季台・旭町・新富・柏中央・新田原・永楽台・富里
 - ③南部1地域 : 増尾・光が丘・酒井根・藤心・南部・風早南部
 - ④南部2地域 : 風早北部・手賀



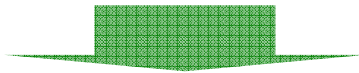
8-2 地域別の交通施策

①北部地域

【まち地域の将来像】

水辺と田園風景を守りながら新たな文化を想像する柏の葉国際キャンパスタウン
地域に残る歴史的資源とあけぼの山の緑から広がるまち

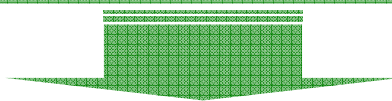
- 北部地域の中心となる柏の葉キャンパスは、東京都心や筑波研究学園都市へは30分以内、世界の玄関口となる羽田・成田国際空港へは90分以内でアクセス可能な利便性の高い地域であるとともに、湧水を含む豊かで広大な緑地、国立大学・国立研究所など、「知」及び「環境」に関する高質なポテンシャルが数多く集積している。
- このような中で、関係機関が連携し「国際的な学術都市」、「次世代型環境都市」を実現する『柏の葉国際キャンパスタウン構想』が策定され、先進的なまちづくりが進められている。



【交通施策の基本方向】

柏の葉キャンパス駅を中心とした次世代型環境都市づくりに向けた新しい交通施策の展開

- 先進的なまちづくりを支える交通環境を創出するため、ICT（情報通信技術）等を活用し、モーダルミックス、持続可能な交通環境を実現するための取り組み、次世代モビリティの可能性の検討・検証を行いながら、環境に配慮した次世代型環境都市の実現を目指す。



【将来の交通利用環境】

- 豊かな自然環境の中で、環境と共生した生活ができ、環境意識も高まり、自動車利用を控えた生活が促進される。
- 移動目的に応じた適正な交通手段の選択が容易となり、自転車や公共交通を中心とした持続可能な交通システムが手軽に便利に利用できる。
- 公共交通軸の強化により柏駅周辺との連携・交流が高まる。
- 訪れる多くの人にもわかりやすく安心して移動ができる案内や手段が整っている。
- 質の高い都市空間のデザインとマッチし、利用したくなるようなおしゃれでカッコいい交通手段が利用できる。

北部地域の主なパッケージ施策



共通事項		
A③バス運行情報の提供	H自転車利用環境の向上	Q市民等との協働体制づくり
E環境負荷の軽減	J広域・都市内ネットワークの充実	R施策の進行管理
F端末物流対策	I効率的・効果的な道路整備の推進	

凡例

- 都市拠点
- 地域拠点
- 生活拠点
- 連携軸
- バス交通網重点整備地区
- 鉄道・駅
- 広域幹線道路
- 主要幹線道路
- 市内幹線道路
- 公共交通軸
- バス路線の充実

【目標1】環境・ひとにやさしい交通に関する施策

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通に関する施策

【目標2】豊かな暮らしを支える安全で安心な交通に関する施策

【目標4】市民等との協働により支え合う交通に関する施策

②中央地域

【地域の将来像】

柏市の顔となる地域の個性を尊重し、美しい景観と賑わいを演出するライブタウン
市民連携により大堀川や野馬土手を活用した、やすらぎのあるまち

- 柏市中心市街地は、柏駅（JR常磐線、地下鉄千代田線、東武野田線）と国道6号・16号に隣接しており広域交通の要衝である。柏駅に隣接する複数の大規模商業施設とともに、放射状に路面型商店街が延伸し、県北西部における中核的商業拠点として、若者を初めとする多くの人で賑わいを見せている。また、中心市街地周辺には手賀沼をはじめとする多くの自然資源や良好な住宅地が広がっている。
- このような中心市街地・住宅地・自然がそろっているという特性を活かし、都市機能の構築と自然資源を保全しながら、安心して快適に住み続けられるライブタウンを目指している。

【交通施策の基本方向】

柏駅を中心に、活力と魅力あるまちづくりと連携した地域との協働による交通施策の展開

- このため、北部地域の都市拠点との差別化を図りながら、引き続き魅力的な中核的商業拠点として、柏駅周辺地区（中心市街地）を中心に、歩いて楽しい歩行者空間や回遊性を創出するとともに、駅へ集中する交通の適正な処理により、まちのにぎわいづくりに寄与できるよう商業振興や魅力あるまちづくりと連携した地域との協働による交通施策を展開する。

【将来の交通利用環境】

- 中心市街地の選択性の高い交通環境の整備や、環境意識の高まりにより、自動車利用を控えた生活が促進される。
- 中心市街地活性化事業の展開とともに、歩きやすく街なかの回遊を楽しめる歩行者空間が整備され、柏らしい出会いと賑わいが創出される。
- 公共交通軸の強化により柏の葉キャンパス駅周辺との連携・交流が高まる。
- 訪れる多くの人にもわかりやすく安心して移動ができる案内や選択性のある移動手段が整っている。
- 最寄の鉄道駅へ行きやすくなり、バスや自転車などを利用する際便利になる。

中央地域の主なパッケージ施策の概念図



共通事項		
A バス交通等利便性の向上	G 歩行者環境の向上	Q 市民等との協働体制づくり
B 乗り継ぎの円滑化	H 自転車利用環境の向上	R 施策の進行管理
E 環境負荷の軽減	I 効率的・効果的な道路整備の推進	

凡例

- ● 都市拠点
- 地域拠点
- ⊗ 生活拠点
- ⌈⌋ 連携軸
- バス交通網重点整備地区

- 鉄道・駅
- ↔ 広域幹線道路
- ↔ 主要幹線道路
- ↔ 市内幹線道路
- ↔ 公共交通軸
- ↔ バス路線の充実

【目標1】環境・ひとにやさしい交通に関する施策

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通に関する施策

【目標2】豊かな暮らしを支える安全で安心な交通に関する施策

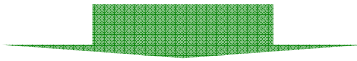
【目標4】市民等との協働により支え合う交通に関する施策

③南部1地域

【地域の将来像】

様々な都市機能が調和した市街地環境の形成と緑ある生活が営めるまち
交通環境を整え自然と住宅が共生したまち並みづくりを目指す

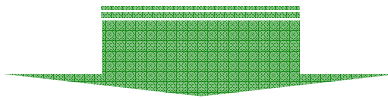
- 南部1地域は、日常生活や産業活動を支える都市基盤の整備を進め、東武野田線の各駅周辺に商業、公益、医療などの日常生活サービスを提供する生活拠点を有するゾーンであるが、交通環境は十分ではなく、最寄駅へのアクセスや公共交通の利便性の向上が求められている。



【交通施策の基本方向】

各生活拠点を中心とした良好な市街地形成のための道路整備や公共交通の利用促進等
身近な交通施策の展開

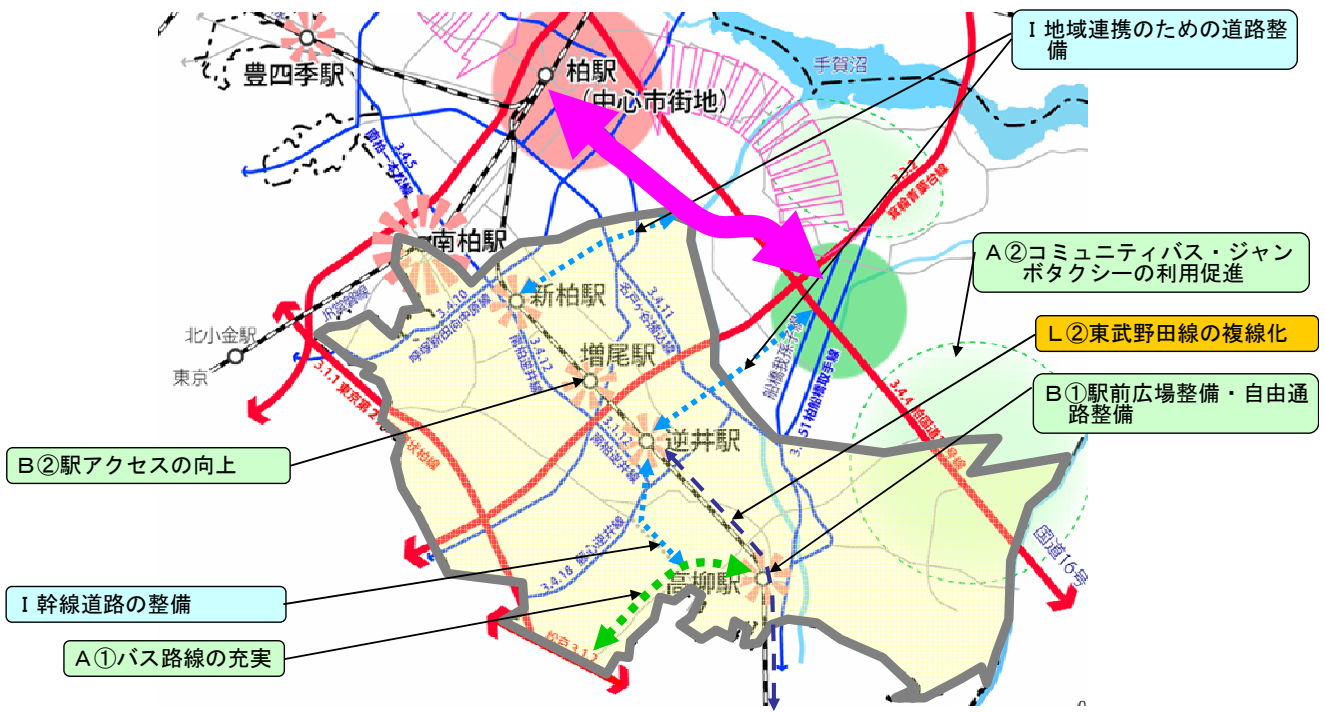
- 魅力的な中核的商業拠点に隣接する緑豊かで良好な住宅地として、駅へのアクセス道の整備とともに、安全な歩行者・自転車利用空間の確保、バス路線の確保など日常生活に欠かせない身近な交通施策を展開する。



【将来の交通利用環境】

- 最寄の駅を中心として生活拠点が形成され、歩いて暮せる環境が整うとともに、バスや自転車などを利用する際にも便利になる。
- 交通不便地域へのコミュニティバスや乗合タクシーの導入により地域拠点へのアクセスが容易になる。
- 日ごろから豊かな自然に触れ合え、散策やサイクリング等が楽しめる。

南部1地域の主なパッケージ施策の概念図



共通事項		
A バス交通等利便性の向上	G 歩行者環境の向上	Q 市民等との協働体制づくり
B 乗り継ぎの円滑化	H 自転車利用環境の向上	R 施策の進行管理
E 環境負荷の軽減	I 効率的・効果的な道路整備の推進	

凡例

- 都市拠点
- 地域拠点
- 生活拠点
- ◀▶ 連携軸
- バス交通網重点整備地区

- 鉄道・駅
- ↔ 広域幹線道路
- ↔ 主要幹線道路
- ↔ 市内幹線道路
- ↔ 公共交通軸
- ↔ バス路線の充実

【目標1】環境・ひとにやさしい交通に関する施策

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通に関する施策

【目標2】豊かな暮らしを支える安全で安心な交通に関する施策

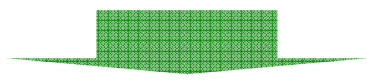
【目標4】市民等との協働により支え合う交通に関する施策

④南部2地域

【地域の将来像】

良好な住環境を整備し、水と緑に囲まれた自然環境を体感できる交流のまち

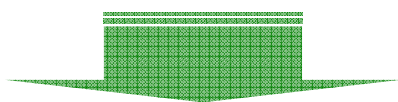
- 南部2地域は、自然、歴史、農地、斜面林などの豊かな地域資源を活かしながら、産業、農業、地域振興、業務拠点を地域活性化につなげる地域拠点を有するゾーンであるが、市内で唯一鉄道駅のない地域であり、公共交通環境は十分ではなく、最寄鉄道駅へのアクセスや公共交通の利便性の向上が求められている。



【交通施策の基本方向】

地域拠点と中心市街地を有機的に連絡する公共交通軸の強化と、良好な住環境や活力ある地域拠点形成に資する交通施策の展開

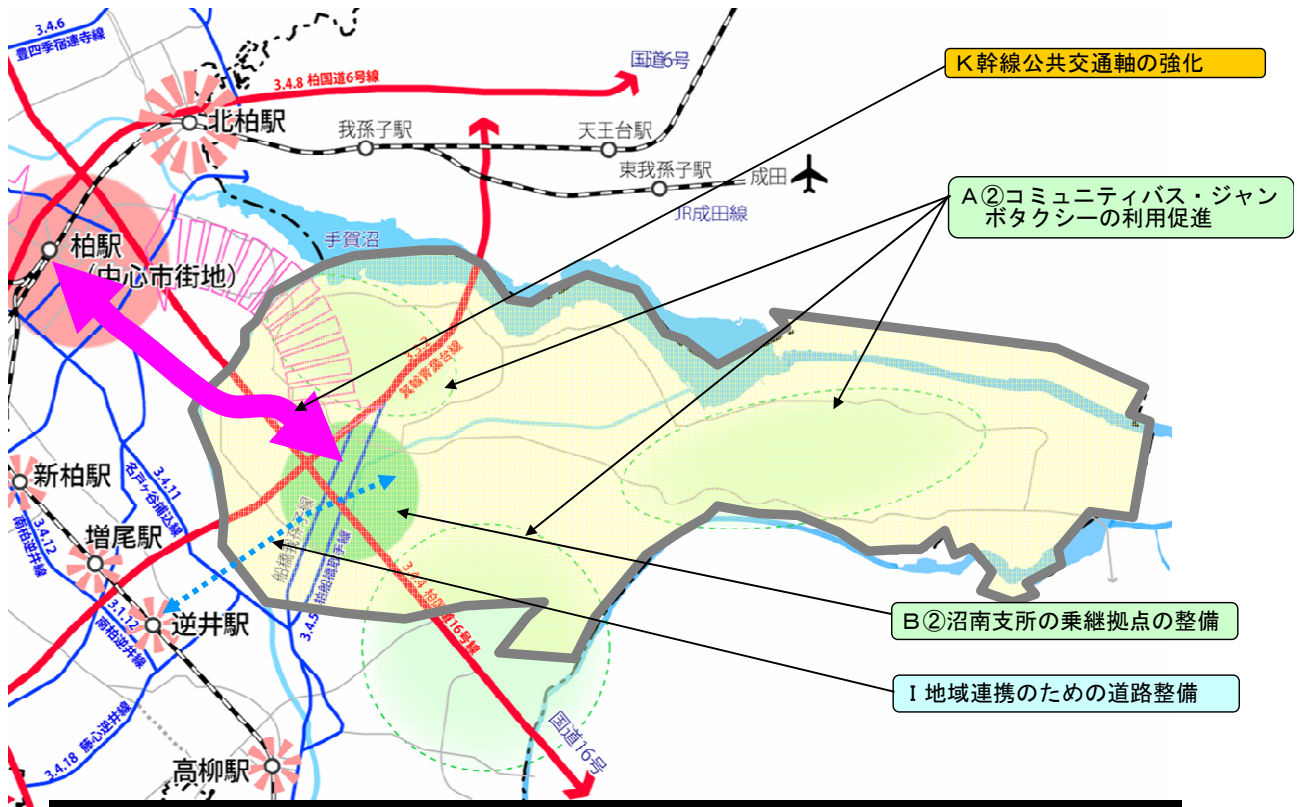
- 都市拠点との連携を強化する公共交通軸の強化とともに、活力ある地域拠点形成に向けて、安全な歩行者・自転車利用空間の確保、バス路線の確保など日常生活に欠かせない身近な交通施策を展開する。



【将来の交通利用環境】

- 柏駅へのバス利用が便利になり、環境意識の高まりとともに、自動車利用を控えた生活が促進される。
- 交通不便地域へのコミュニティバスや乗合タクシーの導入により地域拠点へのアクセスが容易になる。
- 選択性のある交通手段が利用され、多くの自然環境を活かしたレクリエーションや観光による交流が高まり、地域が活性化される。

南部2地域の主なパッケージ施策の概念図



共通事項		
A バス交通等利便性の向上	G 歩行者環境の向上	K 地下鉄11号線延伸の働きかけ
B 乗り継ぎの円滑化	H 自転車利用環境の向上	Q 市民等との協働体制づくり
E 環境負荷の軽減	I 効率的・効果的の道路整備の推進	R 施策の進行管理
	J 広域ネットワークを支える道路整備	

凡 例

<ul style="list-style-type: none"> ● 都市拠点 ● 地域拠点 ● 生活拠点 ⊞ 連携軸 バス交通網重点整備地区 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道・駅 ↔ 広域幹線道路 ↔ 主要幹線道路 ↔ 市内幹線道路 ↔ 公共交通軸 ↔ バス路線の充実
---	---

【目標1】環境・ひとにやさしい交通に関する施策	【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通に関する施策
【目標2】豊かな暮らしを支える安全で安心な交通に関する施策	【目標4】市民等との協働により支え合う交通に関する施策